

兵庫県防犯設備協会の紹介と 資格更新講習に寄せる期待



NPO 法人兵庫県防犯設備協会 専務理事 島田 清

兵庫県防犯設備協会は1999年、全国に先駆け130事業所にて犯罪の発生しない兵庫県づくりを目的に設立されました。

2005年に特定非営利団体として生まれ替わり、現在67事業所で活動しています。

会員数減少の理由は、防犯事業の特殊性から企業の事業膨縮等による支店（部署）統廃合の増減による兵庫県内からの撤退も大きな原因の1つだと考えられます。

2005年、特定非営利活動法人化を機に、兵庫県警察生活安全部長・当協会理事長連名委嘱された防犯アドバイザーが審査する「兵庫県防犯優良マンション認定制度」「兵庫県防犯優良駐車場登録制度」を創設「2017年基準のない安全・安心は最も危険である。」との考えに基づき、防犯設備士が住宅の防犯性に関する統一基準を策定した兵庫県設備優良住宅認定制度を創設、兵庫県内住宅関連企業と共同で実施、協会活動の三本柱としています。

新型コロナ時代、新しい働き方により生活様式が大きく変化するとともに犯罪も種類・手口・対象物が変化することが予想されます。

新型コロナ対策のように中央（国）東京、大阪等大都市、その他小規模協会がバラバラに独自の路線を進むのではなく、防犯設備士事業や防犯設備協会事業は中央（日本防犯設備協会）指導の下、統一した政策、事業を実施することが協会、地域協会の発展になると確信いたします。

各県独自の事業活動（兵庫県防犯優良マンション認定制度）では隣接した府県との名称・認定基準・認定料申請までの相談方法等細部での違いにより、申請者に混乱を与えたケースもあることや、防犯設備士の運用基準にも隣接府県協会により差があることで、各県独自事業の困難を痛感しています。

今回実施予定の防犯設備士資格更新講習に寄せる期待

セミナー方式講習は前半後半の二部構成にて実施され、前半は全国統一部分新技術や法令等の改定、後半は地域協会の特色等についてと聞いています。

一部【全国レベルの事項】

例

- AIシステム機器（人工知能端末）を用いたシステム設計や導入等
- 新時代の犯罪心理や犯罪種等の解説
- 施工基準（災害時停電バックアップ電源バックアップ処理）等
- 他団体からの情報（電気工事組合・インターホン工業会）等
地域協会では得られない全国レベルの情報等

二部【地域協会の特色】

例

- 兵庫県防犯設備優良住宅認定制度の制度説明
- 防犯設備士（企業）の協会への関わり方・防犯アドバイザー委嘱について
- 地域協会の特色、県警察・県等の関わり方について

日本防犯設備協会の必須項目にないとしても、例に挙げた内容等が取り入れられた資格更新講習が実施され、防犯設備士資格者の全国統一技術・知識の向上となり、新たな時代の企業に利益を編み出し、社会に貢献できる新時代の防犯設備士育成の一助となり、地域協会の活性化となることを期待、熱望します。